

第5回 香美市立図書館及び美術館収蔵庫建設等検討委員会 議事録

平成29年2月13日 18:30～

出席委員（14名）： 中村直人・大岸真弓・岡林良浩・野村貴子・町田由岐子・依光美代子・
濱田正彦・奥野克仁・野村文紀・山重壮一・式地美智・山本恭弘・仙波美由記・
山本祥子

事務局：時久教育長・小松教育次長・久保課長・和田班長・佐竹図書館長・黒岩主幹・松岡主幹・依光
日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社：清藤・森
高知新聞社：楠瀬記者

議題：香美市立図書館及び美術館収蔵庫建設事業用地検討の経過説明について

事務局

あいさつ

教育長

あいさつ

教育長・事務局から資料の説明

教育長

第一候補地として挙げた場所を教育委員会でも検討、有力候補地とした経緯があるが、用地を明らかにできないという思い込みの中で進めてきたので、用地検討を重ねてきた経緯を周りに伝えられなかった。それが混乱に至った中身である。建設等検討委員会の設置要綱に任務として「図書館等の建設位置に関する事項」とあるにもかかわらず、これを飛ばしたままあとの項目について検討を始めた。場所を公表できないという思い込みからの誤りと、建築基本計画の作業が当初より遅れてきたので、基本計画を早く作り、パブリックコメントを実施しなければならないという状況があり、そこを先に検討していただいていた。間違いと遅れが重なって建設位置の議論が全くできていない。このことが議会でも選定の過程を市民に知らせながらするべきではないかと言われているところである。課題の1つは、用地検討委員は土地に詳しく、適切かということ、市役所内部で組織し、市民の意見が入っていないと指摘されていること。もう一つは、建設等検討委員会の中で、用地の検討を受けずに進めていることである。資料にはスケジュールをつけているが、変更が必要になってくる。建築については31年度中の開館を目指して進めていて、合併特例債を活用する期限は32年度末までであるが、31年度中に仕上げたいということで進めてきた経緯がある。要綱にある建設位置についての検討をお願いしたい。事務局で詳細に調べて提示したらよい点など、意見や質問を出して頂き、3つに絞った段階からでいいのかという点も意見をいただきたい。

委員長

選定方針は日付も文書作成者名も無いが、どういう性格の誰が作った文書か。

事務局

選定方針は事務局で策定した。

副委員長

2月26日に第1回目の用地検討委員会が行われているが、事務局が原案を作成したとしてもここに諮っていないのか。

事務局

用地検討委員会で諮ったものではない。事務局からこういった中身で選定した10箇所であるという、一連の資料の中で出した選定方針である。

委員長

用地検討委員会の議事録を出してもらえれば、どういった話しをしたのか分かるが、ここには検討した資料しか出てきてない。中身を出していただきたい。1回目の委員会で事務局が作った選定方針を、委員会で確定してから現地視察に行ったというわけではないということか。

副委員長

事務局サイドで、一定面積や要件を決めて方針を提示し、その提示に大体合うところを土佐山田町内で10箇所提示したということよろしいか。

事務局

事務局の案として提示はした。

副委員長

あくまでも原案なので（選定方針は）事務局が決めるわけではない。要綱上は委員か。

委員長

新聞に市民の声が反映されていないと書かれていることと、建設等検討委員会にかけていないということで問題だと言われているが、土地選定時に公的機関など外部の人間を入れることは検討しなかったのか。

副委員長

土地の問題なので、外部の方が入って色々喋っても罰則はないが、公務員であれば当然制限がかかるので、そういう意味で専門的な見地も持ちつつ市内のことをよく知る行政の方々にやりたいということは一定理解はできる。

もう少し考えたら今回のような事にはならなかった可能性はあるかもしれない。行政は自分たちの一定の理論があるので、分からないわけではないが、外部に言われた時にちゃんとした返答はできるように、秘密漏洩に関することなどきちんと正しく伝える部分があるのではないか。

教育長

外部の方を入れなくてはいけないという話は、下話の時にした経緯があるが、少し急いだことと、専門的に用地を見ていただきたいという思いから、最終的にはこのような構成となった。

副委員長

文化施設をつくる場合は外部を入れたらいい。ただ、土地は非常に利害関係があり厳しく制限をしていかなければならない部分なので、外部を深く考えずに入れていて情報が漏れた場合に責任取れない場合も出てくる可能性もある。我々が推察できるのはそういう事ではないかということである。

委員長

資料での経過をみると、文化施設等検討委員会の報告書を出してから用地検討委員会をつくるまでに9カ月強かかっている。土地の選定をするのに大変時間がかかったということか。

事務局

時間がかかり過ぎてしまい、事務が遅れた。

委員

用地の選定について知らない事ばかりで驚いた。建設位置を決定するにあたって、専門的な見地も必要であろうし、守秘義務というものもあるのは分かるが、文化施設等検討委員会の報告書に、人の流れが生まれるというような内容が報告されているが、まちづくりの観点から見る事のできる工科大の先生など専門の方を入れることができなかつたものか、と思った。資料4の地図1から11は少なくとも議会で説明できるのであれば、まず建設等検討委員会のほうに経過を説明していただきたかつた。議会では用地検討は一から差し戻して検討するべきだといった厳しい意見も出た。建設等検討委員会のメンバーも点数を入れる中に加わつても構わなかつたのではないかと思う。委員である市職員の投票で候補地が決まっているので、建設等検討委員会でも意見を言つたり視察に行く等したかつたのではないか。また、説明を聞いて分かると思うが金額にもすごい開きがある。第一候補地は簿価が非常に高く、これまでもいろんな話しが浮上したが用地交渉の値段で流れた経緯があるそう。そういう場所を第一候補地に選ぶのか。財政が厳しいとも言っているのに価格の観点からも、検討が必要ではないか。条件にある上限額も越しているのになぜ第一候補地とするのか。

委員

用地検討委員会で、5つに絞り3つに絞りした際に、選定条件の中に経済条件として価格の妥当性なども書かれているが、価格をきちんと知らせて絞り込みをしたのか。先ほどの話し同様、聞いた話では簿価が高く、何社も打診があつたものの実現していないという。それをあえて買うのかという市民の声もあつた。11番については造成の費用が必要になるだろうが、その費用がどれぐらいなのか、そういう点も計算や検討したうえでのことか。上限額を超えてもここでいいという根拠の説明をしてもらいたい。

事務局

用地検討委員会では、筆ごとの情報や路線価で計算した土地価格を記入した、もう少し詳しい資料を出していた。用地の価格は、面積に対する価格で、3200平米あたりの単価で計算した場合の上限額という算定であつた。当然、用地検討委員は建設課など詳しい人もいるので、積算はせずとも概ね想定できるということで、開発費等を見込んで審査をしていただいたと考えている。

委員長

そういった開発費を加えるとどれぐらいになるのか報告してもらいたい。

事務局

すぐには出せない。次回までには概算額が出せると思う。

副委員長

用地の高い低いはあると思う。調整区域はどういう場所かは分かっていると思う。本来図書館がどういうもの

なのかというところを抑えないと、ただ費用面だけで語られてしまうと、図書館に思いのある者からすれば、何のための図書なのかということになる。調整池もとらなくてはならないなど、造成や開発許可など様々な問題が出てくるし、経費も含めて考えなくてはならない。値段だけではないと思う。

委員長

不正があったように新聞に書かれているので、そうでないことをきちんと出していただき、納得した上で建設等検討委員会で進めるのならいいが、疑義がある状態で進めたら話しがややこしくなる。疑義を払拭してすっきりした形で話しを進める方向にしたい。

委員

値段だけで反対しているということではない。環境的にはアクセスがいいというものもあるが、もう少し静かな環境があればふさわしいのではないかという思いもある。

委員長

まちづくりの観点からどうかという質問をされたが、それも含めどういふ議論があったのか答えがいただけたらもう少しすっきりするのではないか。

委員

用地検討の議論に我々も加われなかったのか。守秘義務に触れるということであればだが、この会は建設場所の検討もする会であるので、少なくとも、11の候補地がある程度の情報は与えていただいても良かったのではないか。用地検討委員会だけで決定するのかということが議会でも出されたので、建設等検討委員のメンバーは信用されていないのではないかという意見まで出た。一般市民の意見が反映されていないということになった。情報をできる限り提供していただきたい。

事務局

前段で説明したように、まちづくり、都市計画、いろいろな制約がかかってくる土地、所有者が多数いる土地など、用地取得に向けて実際に取得が可能な土地かどうかということ随分協議した。建設等検討委員会の皆様の意見をいただいたら良かったと、今となっては思うが、専門的な意見を加えさせていただいたということである。

委員

評価概要の3番、困難度が高いというのは具体的にどの程度まで調査などしてこの評価となったのか。他でも「懸念」などの言葉がたくさんでているが、もう少し具体的に教えてもらいたい。

事務局

商業施設の相談などもきていたが、応じなかったといった情報が過去にあったということである。

委員

地権者が具体的に意思を示して拒否したというわけではないということか。

委員長

まちづくりの観点はどれぐらい検討されたのか。土地を収用しやすい、造成の費用を計算してなどもあると思

うが、日本中でいろいろ図書館や公共施設をここに造ったら活性化したこともある。そのあたりを考えてのここであるということ聞かせてもらえると、先ほどの委員の質問にも答えたことになると思う。

委員

用地検討の場にいたので説明します。2004年に土佐山田町がつくった都市計画マスタープランというのがあり、中には歴史文化拠点が秦山公園あたりにある。195号線は、あけぼの街道がセイレイ工場東のあたりから鏡野中学校の裏を通って土生川沿いに佐岡のほうに抜ける計画がある。将来を見たときは、線路から北のほうだという説明はしたが、用地検討委員会の中では、その意見は反映されなかった。あけぼの保育園のあたりが、建ぺい率が60パーセント、容積率が100パーセントということで条件は厳しい。高さ制限で10mを超える建物が建てられない。このあたりはベッドタウンとして人口を増やすには、将来優良住宅地になる場所でもあり、図書館を建てるのはもったいない。公共施設であれば市街化調整区域でも建てられるので、調整区域で駅からも近いところが良いのではないかと。調整区域では、開発協議をしなくてはならないが、市街化農地であっても1000平米を超えれば同様に開発協議が必要。調整区域で市街化区域に近く、駅を中心と考えてとの説明はした。

副委員長

検討の流れの中で意見が分かれたように、利害関係もある方もいるだろうから意見が分かれるところだと思う。合併して10年、土佐山田町の図書館なのか、香美市の図書館なのか、といったときに、3つがちゃんと繋がって、かつ生涯教育の一環として、幼稚園・保育園から大学までであるといううたい文句でやっている。森林率の高い香美市にあって、山のことも図書館を通じて一緒に関係機関と連携できる、総合的な部分も特徴ある図書館としては考えなくてはならない。線路から北側でも開発してやっていけばいいでしょうが、調整区域は調整区域なので、宅地が増える要素はない。本来なら図書館も他の機関と連携ができる場所がいいという思いがある。それぞれいろんな意見が出てくるだろうから議論で用地として深めるのではないかと。

委員長

選考の過程でいろんな意見が出ているのは皆さんにご理解いただけると思う。一定程度の合理性があることを確認できればいい。先ほどの値段の問題でもその場で出た資料やどう検討したのかが出れば質問者もだいたい納得できるラインが示されるとおもう。今のまちづくりの件もそうで、バイパスが通るとの話は聞いていた。どう検討されたのかと思った。説明を聞けば、一定検討はされており、協議したうえでこうなったというのは聞けば納得できる部分もある。曖昧になったり合理的な判断がされたか分からないということになっていくと疑いの目を向けられる可能性がある。そうならないようにしたい。話し合いの場を一段階目に戻せという人が出てきたり、市民の意見を無視しているというようなことになったら困るので、きちんと手順を踏んで議論して合理性を検討したうえでそれなりの着地点になっていることが確認できればいい。委員から出ている、土地の話しを決定する会に我々も参加して意見が言いたかったというのは、時間を戻せないで、今やるしかない。疑義がないことを確認するというので、値段や造成費に関するデータなどそれなりのものを提示いただきたい。少なくとも会議をした際は議事録をとり、後から情報公開で求められたら全部出す。手際良く疑義をもたれないような資料をそろえていただき、説明をしてもらいたい。

副委員長

守秘義務と言ったが、議員さんの気持ちは分かる。そういう意見が出るのは当たり前だ。

委員長

一般市民から金額の件で言われたということ自体を納得させられる資料とか提示できるのならいいが、一般の

方はそのように思っていると理解して、我々はそのような疑義をなくすように努力しないといけないということ
でいいと思う。

委員

用地の面積は大きな要素だと思う。価格の問題があるが、図書館などの建物の性質として、用地が狭ければ高
層化すればいいのではないかと単純にはいかない。3、4階建の図書館となると運営するとなると大変になる。
何個もカウンターを作れない。せいぜい2階ぐらいが普通。そうすると用地の広さは合理的な判断基準なので、
ちゃんと入れておいたほうがいい。もうひとつ交通機関だとかもあるが、実際には自動車で来館する方が多いの
で駐車場が必要なところからすると、用地の広さは大きなポイント。

委員長

選定したとき、すべてのデータを載せたような文書をもって判断しただろうから、同じものを提示いただけ
ないか。口頭でメモしろと言っても無茶。きちんと出していただき、できるだけ疑いを晴らすというふうにして
いただき、話を進めたい。きちんと議論してきたことを確認したい。金額以外に造成の件も金額がはっきり出ない
といけないと思うが、参考にした数値はあるだろうから、それを入れたうえでないと。伊万里の図書館はかな
りの面積が取れる位置につくったというところから、最初から2階建前提にしているが、敷地が広いほうが
いいということはずっと言っていた。もっと広いところがあっても、そこになったのか理由が言えるように
データを出していただきたい。

委員

A コープと言われたときは、それだけを聞いてそこに決まったのだろうと捉えていた。何かを言う余地は残
されていないと受け止めていたが、11 候補地から絞られ現在3箇所になっていて、展開によっては、ある
いは変わるかもしれないということもあるのか。

教育長

最初提示したときも候補地という言い方をさせていただいた。一度具体的に出ると、そこに建てる
と捉えられてしまうので非常に気遣いながら提示させていただいた。候補地ということであ
の時は外部に出してはいけないと皆が思い込んでいたため、1,2,3 となかなか言う事ができず、1
番に候補地に挙がってきているところのみ提示した。いきさつを最初から話すことは非常に
難しく、A コープだけの話をした。検討委員から意見をいただくにも、土地が全く分
からないままでは検討できないということで、苦肉の策であった。現在は、3箇所
で検討するというのであれば、そこを見ていただければどうかと。用地の選定はこの
とおりであるが、図書館を建てる時に教育委員会で考えたのは、そこが図書館として
皆が集うという観点でよい場所であるということの話した。しかし、今までの手
順におかしいというところがあるので、どこまで遡るかということについては、
「ここから」というような話でなく、委員の皆さんが納得しないと先に進まない。

委員長

3ヶ所に絞った段階なのか。2や3に建てることになってもいいのか。

教育長

検討委員会は建設場所も建物も含めて意見をいただきながら進めていこうという会なので、
一度図るべきだろうという議員さん方からの意見もあった。

委員

交通条件や環境条件など、費用条件だけの問題ではないと思う。調整区域になって建てられる状況になったときに、どれだけの費用がさらに必要なのかも分からないし、3ヶ所に選ばれた時に点数を付しているが、車の交通量、各学校からの距離、人の流れがどれだけとか総合的に判断をしていただかなければならないと思っている。できるだけ総合的に判断できる資料、この候補地が適当であろうというような資料を出していただかないと、どこの土地なのかイメージがわからない。

委員

公表してはいけないと思いきんだ根拠というのは何か。

事務局

第一候補地について土質調査、面積、属性情報など調査を行った。今回第一候補地が有力候補地と判断し、公表した。土質が悪ければ第二、第三というのもあったが、公表できなかったのは、強制力のある収用法の事業認定は県の許可を頂くので、順に資料等を積み重ねて、良いところが第一候補地であるというところで、事業認定を受けられる。もともと決まったわけではない。半年くらいを要して一番相応しい土地について収用法をかけるという作業で、最終的に決まるのは認可のときでないと県の事業認定は受けられない。作業を進める過程で先に決めてしまっただけではない、ということからなかなか公表できなかった。今回、有力候補地ということで公表させていただいたという経緯である。

委員

順序だてて書類が提出されて県に認められていたら公表できるが、それができていなかったからということか。

事務局

最終的に事業認定を受けてはじめて県の事業認定がとれる。決定していないから公表ができなかった。

事業認定ができるよう詰めていった状態でないとオープンにできないと捉えていた。事業認定自体は現在進んでいないが、ここに建てるべく進めようとしているという意思自体は香美市として持ってかまわないので、事業認定と切り離して考えて良いということが分かったため、今、オープンにさせてもらっている。事業認定の手続きが一定かなり進み、申請が通るであろうという段階までいかなければオープンにできないと誤解していた。

教育長

事業認定を受ける過程の中で、言うてはいけないと思っていた、単純な間違いである。全くお知らせしないまま進んで行くのがどうしても疑問で、日建設計 CM さんが入ってくださってから、この疑問について相談すると、それはおかしいのではないか、ということで確認した。

委員長

間違いがあったのは良く分かったが、市民に聞かれてどこの土地が新しい図書館をつくるのにふさわしいか、市民から見ておかしくないと思われたいといけない。第三候補地までを市民にオープンにして投票とかしてもらって、一番得票があったところに決めるのが一番公平ではないか、といった意見が出てもおかしくない。そういう意見に関しても専門家から見て、この場所がいいのだと言えるような話をきちんとつめていただきたい。

委員

100年先まで受け継いでいける、自慢できる生涯学習の拠点として、市民も参加して建てるように、建った後も市民が運営にかかわっていけるようにと進めている。とても残念である。誤解もあったようだが、情報公開がずっと後手後手になってしまった。特例債を使っての事業の期限が限られている中であっても、意思決定の過程を大事にしないと、市民と一緒に協働でということには、結果としてならないと思う。点数表が資料としてあるが、どこかで広く（採点が）できるような機会などを設ければ、皆が関心持っていけるのではないかと思う。どんな方法があるかは分からないが。

教育長

用地検討委員会で、土地の検討はしっかり検討してくれた経緯はある。そういう経過を経て3つに絞り順位をつけたところだが、そこから検討を進めていただいても、と思っていたが、もともと11の土地をどうやって選んだのかとなると、地権者に同意をもらっているとかではなく、この近辺の3200平米ぐらいで選んだ土地。伊万里へ行った当時は、駐車場が100台から150台分は必要だろうと言っていたが、かなりの広さなので、それは難しい。普段使うには50台くらいあればなんとかなるのではということから3200平米ぐらいで出てきた。実際図書館で何か催しをすると、近辺に駐車場も必要かもしれない。5つに絞る過程の中では到底無理という土地なども出ている。谷秦山先生の墓所の山のところなども考えていただろうが、造成にとっても時間がかかるということと、造成の費用もかかる、期間的に難しいだろうということもあった。順に検討していただいた経過もあるが、どこまで遡るかについては制限をかけずに、もっと検討しなければということになれば、元から戻ってということもあると思う。

委員長

11か所、3~4千平米ぐらいの土地が出されたところから、選択されたところまでは別に疑義をはさんでいるわけではない。5つに絞り3つに絞る時にどうしてこちらの土地がとか、造成費用がいくらかかると見積もったのかとか、道路がとおるはずなのになぜそこではないのか、と皆が思っている。検討した結果ここになったのだ、という正当な理由があればいい。市民全体に投票してもらう必要はないし、きちんと説明さえできればいい。きちんと検討していないのでないか、という書き方をされたので困っている。我々はそう思っているわけではなく、むしろ1日も早く図書館を建てて市民のために開館できるほうがいい。ただし、いろんな形でケチがついた状況では進みたくない。市民のための考え方を入れた上でこのように決定した、と納得できないといけない。情報はきちんと開示していただき、できるだけ市民を説得できるような話しが進められるようにしたい。

教育長

今度は、用地検討委員会で検討した11候補地について、面積や持ち主をまとめたものを準備したい。

委員長

所有者は省略していただいて結構。議員から質問があったとき、非常に高い値段なのに買うのか、というのは、誰かに利するような取引になっていないか疑義がある、ということ。そういったことがないというのを証明できればいい。

教育長

全体をまとめた詳しくわかる資料と、用地検討委員会を開いてきた中で出された意見の記録を。

副委員長

3つであろうが11であろうが、山田の人以外は現地を知らないのでは、比べようがない。そこを無しに議論を

してもなかなか難しいのではないかと。

委員

お金の面での疑いもあるのではと話があったが、それ以外で割れた意見があるのか。

委員長

保育関係の方は、あけぼの保育園とか秦山公園とかに近いところが、施設運営上いいと思っておられるのではないかと。

委員

結構複数個所ですね。

委員

委員の説明は裏付けがあり分かりやすかった。なぜ却下されたのかも、きちんと書面で知りたい。今候補地になっている場所に反対はしていないが、それぞれの候補地について、詳細が論じられなければ、機会を失う。市民に発表する場は今まで何度もあった。1月の懇談会の場でも、市民の方が用地はどこか、という場面もあったが、そこでも、まだ場所は言えないので、用地をなしにして話しをしてもらいたい。その場も発表する場としてひとつのチャンスであったと思う。今まで発表する場を何回も失っているので、ここで細かい事を精査して進んでいくべきだと思う。

委員

ベストの場所はここだが、財政的にとても無理なのでこちらにする、というのはあってもおかしくない。できないことはできない、造成費用がとてめかかって、土地を買うよりも高くてもそこでやればベストだというのなら、それはそれでいいが、とても費用が出せそうにないというのなら、説明をすればいい。お金のことを理由にできないことはないと思うが、ただ、お金のことがあまり理由として先立ち過ぎると、それはそれで妙な話しになる。制約条件がなければベストだが、かなり大きな制約条件があり、次の候補にしたといったことであれば分かる。

委員長

個人的感想だが、圧倒的にポイントが高くかなりの差がついているのであれば、皆が納得すると思うが、少しの差である。データをもう少しきちんとしたものを用意したものがほしいと、どこまで検討されたのかがないと大手を振って言いにくい。

副委員長

注文を挙げれば、用地検討委員会するとき、条件を付ける視点がどうであったのか。統一されていたのか。環境条件や交通条件、立地条件にしても同じ。どこを中心にして考えているのか。今の図書館なのか市役所なのか。そういう部分で全体が見れているのか。用地は利害関係がすべて入っているので、その部分が不明瞭だという感じをうける。委員の投票でやっているのだから、それはそれでいいかもしれないが、図書館を建てる時にどういう視点でやっているのか説明が足りていないのではないかと。

委員長

次回はどう考えているのか。

教育長

場所については全体の検討を写真で示すことはすぐできるが、実際の場所で、そこまで行くのにどの程度遠いか、道からどれくらい離れているのか、周りの住宅がどう込み合っているか、など感じてもらうと全く違うのでそのあたりをどうにかしたい。

委員長

土地勘がない委員については、時間などを設定していただき、車などで回っていただけるといい。短時間で分かりやすく説明できるようなシステムを考えていただき、土地勘のない方に説明していただき、ご判断いただけるような条件を整えてください。

教育長

今度、会を設定したとき、遠くの方や一緒に行ったほうがいいのかという方に、その前段で回っておいてこの会に望むといった形でどうか。

委員長

同時並行でやっていただき、次の委員会で詳細な資料を出していただき、合理的な基準で決めていったのだというのが分かるようにしていただければよい。心配なのはプロポーザルの話しを同時進行でしているのではということである。

教育長

議会のあと、説明もできておらず、3月議会には有力候補地の予算を提出しようというところもあったが、このような状態であるので、一旦予算を提出しないということで伸ばしている。プロポーザルの方も土地が決まっていけないのに、進めてもいけないということで中止にした。

委員長

次からの委員会は、一度に出せる資料はすべて出して頂き、できるだけ短い時間で基準が検討できるようにしてください。いつまでたっても市民の為の図書館が建たない。何のために委員をやっているのか分からない。プロが決めるのであれば、市民の方に説明ができて、こんなに検討したとしなければいけない。資料がそろっていない段階で、会を開いても無意味である。資料を全部そろえていただき、短時間で終わるように準備を整える。そろった段階でできるだけ早く検討委員会を開くのがベストだと思う。そういう努力をしているということを3月議会に説明できるようにすることが、事を早く進める方向性だと思う。手際良く進むように委員会のほうも協力したいので、疑義を晴らしましょう。

以上で本日の会を終了します。

閉会 (22:05)